

ク

○怪異「怪異」を見よ
 ○稽康
 ○稽古の譽
 ○藝能
 愚にして謹める
 學問藝能
 堪能の嗜まざる
 堪能の非家の人
 志す人
 骨
 才藝の譽
 慈鎮和尚
 上手に至らざる
 上手の位
 巧にして恣なる

多能
 拙きをも知らず
 馬藝
 不堪の藝
 勝りたるを喜ぶ
 慢心
 名人
 目の前の事
 弓の師の誠
 よろづの道の人
 老人
 ○競馬
 ○刑罰
 ○醫陣
 ○輕蔑
 ○教育「男」
 ○教訓

一言芳談
 下藹の詞
 雙六のをしへ
 ○教相
 驕奢
 きよらを盡す人
 四大事
 ○孝養の心
 ○樂欲
 ○燒蓮上人
 ○穢
 入物
 灸治
 神事
 水火
 ○外記
 ○下月

○華嚴院の弘辨僧正
 ○外相「内證」
 ○下乗の卒都婆
 ○懈怠
 一時の懈怠
 懈怠の心
 後悔
 ○結縁
 ○血氣
 ○桀紂が心
 ○下人
 ○けはれなく
 ○檢非違使の別當
 ○煙「鳥部山」
 ○劔
 酒
 畫御座の御劔

寶劍
 御國讓の節會
 ○賢
 偽りても學ぶ
 願ふ人
 ○兼好自讀七ヶ條
 ○玄輝門院
 ○賢愚得失の境
 ○幻化
 ○言語
 一日の事
 今と昔
 交際
 聞きにくからず
 虚言家
 虚言と人さまざま
 虚言のさまざま

眞言
 誇張
 詞多からぬ
 才ある人
 式といふ語
 下さまの人
 多辯
 人の物問ひたる返事
 無作法
 無益の談
 よからぬ人
 よき人
 律呂
 若き人の言うるはしき
 辨へたる
 女
 ○堅固かたほなる

食る心	三九三ノ三	後世を思ふ人	三五二ノ五	〇五條の天神	四三三ノ三
名利	三九一ノ一	酒	四八ノ二	〇孤獨	三六〇ノ九
用ゐること	四三六ノ九	住む所	三五〇ノ三	〇後徳大寺の大臣	三三三ノ二
物に動く	四二五ノ八	〇後嵯峨院の御代	四四五ノ三	〇五徳の冠者	四四〇ノ二
安き心	三四〇ノ三	一念の念佛	四三〇ノ二	〇梓植(女房)	三八二ノ二
安くす	三六一ノ二	式といふ語	四三〇ノ二	〇詞「言語」を見よ	
病	三九二ノ三	〇飯おとす	三五〇ノ九	〇後鳥羽院	
世に勝れたる	三六八ノ五	〇後七日の阿闍梨	三五〇ノ八	樂府の御論議	四四〇ノ二
老人	四二六ノ二	〇故實「有職、故實」を見よ	三五〇ノ三	白拍子	四四〇ノ九
若き時	四二五ノ八	〇小菰	三三二ノ二	定家卿	四三二ノ二
幼き心	三八九ノ九	〇御前の火爐	四三二ノ三	光親卿	四三二ノ九
女	三七七ノ二〇	〇小袖	四三二ノ四	〇後鳥羽院の御代「式といふ語」	
〇心あらん人	三八五ノ八	〇同	四三二ノ二	〇異様のもの	四三二ノ二
〇志	四三六ノ六	〇木精	四三九ノ三	〇理「理」を見よ	三九〇ノ九
〇後世	三九〇ノ九	〇骨	四〇五ノ九	〇五の穴(横笛)	四四一ノ五
心に忘れぬ	三八〇ノ七	〇五條の内裏	四三六ノ一	〇同	四四二ノ二
後世の營み					

〇近衛關白殿	四二一ノ六	〇護摩する	四二〇ノ六	律呂	四三三ノ四
〇近衛殿「又五郎の事」	三七四ノ二	〇護摩たく	四二〇ノ六	才藝	四三三ノ三
〇こはきもの	四三六ノ三	〇權化の人	四三〇ノ〇	才藝の馨	四三三ノ六
〇小箱	三六八ノ四	〇權者の傳記	三五九ノ二	才能の自慢	四三三ノ六
〇碁盤「圍碁」を見よ		〇虚無僧	三八三ノ二	才ある人	四三三ノ〇
〇小春の天氣	四〇八ノ六	死を輕んず	三八三ノ二	第一の才能	三八五ノ三
〇鯉		名	三八三ノ一	大才	三九三ノ一
羹	三八四ノ一	ぼろく	三八三ノ四	激むべからず	四三三ノ四
庖丁	四四六ノ五	〇巨釜	四四三ノ〇	なくなりぬれば	三三八ノ六
百日の鯉	四四六ノ七	〇粉雪	四三三ノ〇	風月の才	三三五ノ九
やんことなき魚	三八四ノ二	〇維繼中納言	三五五ノ九	煩惱	三三八ノ九
〇戀「戀愛」を見よ		〇伊通(九條太政大臣)	三三〇ノ二	無能	四三七ノ五
〇古弊	三七三ノ四	〇同(九條相國)	四三三ノ三	老人	四三三ノ三
〇故法皇(花園院)	三九四ノ七	〇聲			
〇狛犬	四九二ノ二	鐘の聲	四三二ノ八		
〇小松の御門	四三〇ノ二	元良親王	三九二ノ六		
〇護摩修する	四二〇ノ六	夜	四三二ノ三		

○才覚	三七四ノ一	多き	三三九ノ一
○西行	三三三ノ三	神	四四〇ノ三
○細工	四四五ノ二	君	四四〇ノ三
刀	三八六ノ五	近火	四四〇ノ三
必要	三三三ノ三	金	三三九ノ二
松下禪尼	三三三ノ三	同	三三九ノ二
○齊宮	三三二ノ七	心長へに安く樂し	四四〇ノ一
○祭月	四三三ノ二	死後	四〇一ノ三
○妻子	四〇二ノ三	身後	三三九ノ二
○最勝講の御聽聞所	三三〇ノ〇	人命	三七〇ノ〇
○最勝講奉行	三三三ノ九	商人	三七八ノ六
○最勝光院	四二二ノ一	所願	四三九ノ八
○罪人	四三三ノ六	小人	三三三ノ一
答	四三三ノ六	錢	三三三ノ五
凍餒の苦	四〇三ノ三	憑むべからず	四三六ノ三
○財貨、金錢	三七八ノ五	智者	四〇一ノ一
一錢を累り		恒の産	四〇三ノ二
		貧人	三三九ノ一
		目的	四四〇ノ三
		持たであらまほし	四〇一ノ四
		用ひざる	四四〇ノ四
		奴の如く用ふ	四三九ノ二〇
		欲に従ふ	四三九ノ六
		○歳暮	
		あはれ	三三八ノ二〇
		晦日の夜	三三九ノ二
		追儺	三三九ノ二
		春の急ぎ	三三九ノ一
		○西明寺	四二二ノ六
		○最明寺入道(時頼)	
		足利左馬入道を訪ふ	四三六ノ八
		平宣時を招く	四三九ノ二
		○齋王丸	三三八ノ九
		○西域傳	四二二ノ五

○西園寺	三三四ノ二	○さうりまき	四四〇ノ七
○西園寺の鐘	四二二ノ九	○相論	四二二ノ五
○西園寺内大臣	四〇六ノ九	○才ある人	三三九ノ二〇
資朝卿	四〇六ノ九	○棟	三三三ノ九
西大寺靜然上人	四〇六ノ九	○盃「酒」参照	
○象	三三三ノ一	酒を思ふ	四〇九ノ三
○早歌	四二四ノ二	酒を捨つる	四〇九ノ二
○想像	三三八ノ三	玉の厄	三三九ノ四
○莊子、南華の篇	三三四ノ八	○肴	四二七ノ二
○草紙「書籍」を見よ		○同	四一九ノ六
○相者	四〇四ノ二〇	○同	四三八ノ三
○雙調	四二一ノ四	○相模守時頼の母	四三三ノ九
○雙なき馬乘	四三三ノ七	○壯なる人	三三三ノ二
○相人	四〇四ノ二〇	○さざちやう	四三二ノ八
○菖蒲	三三九ノ七	○前中書王	三三〇ノ二
○想夫戀	四三七ノ七	○夕の穴(横笛)	四二一ノ四
○相府蓮	四三七ノ七	○作文	三三八ノ七
		○作文詩序	三五六ノ九
		○櫻	
		家にありたき木	三三九ノ二
		運櫻	四〇〇ノ三
		左近の櫻	四〇〇ノ二
		ひとへなるよし	三三九ノ二
		蟲のつきたる	四〇〇ノ二
		八重櫻	三三九ノ二
		同	四〇〇ノ一
		吉野の花	三三九ノ二
		○酒	
		悪	四二八ノ二
		飲酒の害	四二六ノ二
		憂	四二八ノ二〇
		老法師	四二八ノ一
		同	四二八ノ七

下月 三八ノ九
 現世 四二八ノ九
 劔の譬 三八七ノ二
 後世 四二八ノ二
 盃 四〇九ノ三
 肴 四二七ノ二
 同 四一九ノ七
 酒を好む人 三八三ノ〇
 慈悲 四二七ノ六
 上月 四一九ノ〇
 酒宴の狂態 四二七ノ九
 酒亂の下部 三六六ノ一
 捨て難き折 四一九ノ二
 善根 四二八ノ二
 智恵 四二八ノ二
 手なきもの 四二八ノ二
 時頼と宣時 四二八ノ二

人に飲ませたる人 四二八ノ三
 百薬の長 四二八ノ九
 御酒 四一九ノ四
 病 四二八ノ〇
 よからぬ人 四二七ノ三
 よき人 四一九ノ八
 禮儀 四二七ノ六
 男 三八ノ〇
 女 四二七ノ二
 〇鮭 四二七ノ二
 からざけ 四三〇ノ二
 素干 四三〇ノ四
 〇左近の櫻 三九九ノ三
 〇佐々木隠岐入道 四二〇ノ六
 〇棧敷 四二〇ノ五
 うつ 四二〇ノ五
 構ふる 四二〇ノ五

祭の折の 三九六ノ八
 前を行きかふ人 三九七ノ八
 〇指貫 三四一ノ二
 〇作善 三五八ノ九
 〇定實(土御門相國) 四三二ノ九
 〇早苗 三二八ノ二
 〇讃岐典侍が日記 四三三ノ一
 〇實氏(常盤井の相國) 三七一ノ三
 〇同(北山入道) 三八四ノ四
 〇實方 三五六ノ一
 〇實定(後徳大寺の大臣) 三三三ノ二
 〇實泰(洞院右大臣) 三七三ノ三
 〇實雄(洞院左大臣) 三六四ノ六
 〇同(山階左大臣) 三七七ノ七
 〇作法 四三三ノ六
 柶器 四三三ノ六
 勅勘の所に靴かくる 四三三ノ二

草の庵と軍の陣 三九八ノ九
 期する所 三六〇ノ五
 財残る 四〇一ノ一
 去る者 三四四ノ二
 死期 三九六ノ二
 同 四二五ノ三
 死人の譬 三九七ノ三
 死門 四二六ノ二
 死を恐る 三六〇ノ二
 中陰 三四七ノ七
 近きなも知らず 三九二ノ七
 近きを忘る 三七〇ノ三
 水の譬 三九七ノ〇
 都の人 三九七ノ二
 物のあはれ 三三〇ノ六
 勇者の死 三三三ノ一
 臨終 三四四ノ二

臨終 四〇三ノ七
 〇璽 三三三ノ六
 〇自由 三三三ノ一
 〇同 四二四ノ四
 〇詩歌 三六六ノ六
 〇宗(眞言宗) 三三三ノ三
 〇宗(念佛宗) 四三三ノ九
 〇衆議判 三三三ノ六
 〇秀句 三三三ノ三
 〇終始 三三三ノ七
 〇宗の法燈 三三三ノ三
 〇修理 四三三ノ四
 〇鹿 三三三ノ二
 〇嗜好 三三三ノ八
 〇式(語) 四三三ノ〇
 〇式(法律) 四三三ノ二
 〇四季「季節」を見よ 四〇五ノ二

〇雜入 三三九ノ二
 〇三種の神器 三三三ノ六
 〇山賊 三三六ノ五
 〇三條右大臣 四五〇ノ九
 〇三塔巡禮 四五三ノ二
 〇山門「門」を見よ 四〇八ノ八
 〇散亂の心 四〇五ノ四
 〇三里 四三三ノ三
 〇佐理 四三三ノ三
 〇去る者は日々に疎し 三四四ノ二

〇死、死後「生死」参照
 跡とふわさ 三三三ノ五
 命を終ふる大事 三三三ノ四
 後に迫る 四〇八ノ九
 機嫌 四〇七ノ二

徒然草索引サ
 五九九

○四季物語	三九ノ四	○仕丁	三三ノ四	○心より受く	三八ノ三
○色欲	三三ノ三	○使廳の評定	四三ノ二	酒より起る	四一ノ二〇
○同	四五ノ三	○失禮	三三ノ九	盛親僧都	三五ノ二
○重躬	四〇ノ五	○失	三九ノ二〇	主上の御惱	四三ノ二
○自讃	四〇ノ二	争を好む失	三九ノ二〇	外より来る	三九ノ二
○獅子	四九ノ二	他に勝る失	四二ノ二〇	大事の病者	四七ノ四
○侍従大納言公明	三七ノ六	○静(白拍子)	四四ノ八	まづはれたる人	三八ノ二〇
○仁壽殿—吳竹	四三ノ六	○實行	三七ノ四	無病健康の人	三八ノ九
○時正	四二ノ九	○質素	三九ノ一	病のおもる	四三ノ二
○史書の文	四七ノ六	○嫉妬、羨望	三九ノ三	癰疽	四三ノ六
○紙燭	四三ノ八	賢を羨む	三九ノ三	老人の分を知らざる	三九ノ四
○志太の某	四九ノ八	鳥獸蟲	三九ノ三	○質朴	三七ノ一
○四重	三八ノ五	○疾病、病人—「藥」参照	三九ノ三	○四條	三七ノ一
○實有の相	三八ノ二	愁	三九ノ三	○四條黃門	四一ノ三
○七徳の舞	四四ノ二	冒すなも知らず	三九ノ三	○四條大納言(公任)	四一ノ一
○慈鎮和尙	四四ノ一	機嫌	四七ノ二	○四條大納言隆親卿	三六ノ五
○使廳	四二ノ三	氣のあがる病	四〇ノ二〇	○兒童、童	四三ノ二

出雲大社の獅子	四五ノ四	○慈悲	四〇ノ九	○神供	三五ノ二
言ひ辱めて興する	三八ノ八	荒夷	四〇ノ九	○神官	四五ノ三
小賢しき子	四七ノ五	幼児を苦しむる	三八ノ二〇	○新古今集	三五ノ四
齋王丸	三八ノ九	人倫	三八ノ五	○眞言書	四三ノ二
法師	四六ノ九	○十月	四〇ノ六	○眞言院	四二ノ八
○薪	三三ノ二	小春	四〇ノ九	○神事	四〇ノ二
小部	三九ノ一	神事に憚る	三七ノ七	灸治	四〇ノ二
○部の間	三八ノ四	○四部の弟子	三九ノ二〇	穢	四三ノ九
○人品	三四ノ二〇	○しほといふ文字	三九ノ二〇	十月	四三ノ九
○同	四二ノ二〇	○信	三五ノ三	○人事	三六ノ三
○品(家柄)	四二ノ二〇	土大根敵と戦ふ	三八ノ一	○同	四六ノ九
○信濃前司行長	四四ノ三	守らじ	三八ノ一	○神社	三三ノ一〇
五徳の冠者	四四ノ三	約束	四三ノ七	伊勢	三三ノ一〇
平家物語	四四ノ二	○心戒(僧侶)	四四ノ九	出雲の大社	四四ノ八
○指南—音調	四三ノ七	○信仰	四六ノ九	石清水	四四ノ三
○四方拜	三九ノ二	○同	四〇ノ八	岩本	三五ノ一
○芝の上	四二ノ七	○仁義—君子	三七ノ一	梅宮	三三ノ一

大原野	三三〇二	森のけしき	三三〇九	所願無量	四九〇六
春日	三三〇〇	吉田	三三〇二	處世	三三〇〇
賀茂「賀茂」を見よ		夜の参詣	四九〇六	生死	三三〇四
貴船	三三〇二	〇眞乘院	三三〇一	虚言多き世	三三〇九
神に水綿かけたる	三三〇九	〇人生、生涯		人間の替み	四二〇一
参詣	三三〇六	一時の懈怠	四三〇三	如幻の生	四三〇七
忍びて籠る	三三〇四	替み	三三〇三	萬事は皆非也	三三〇二
十月の行幸	四三〇三	榮枯盛衰	三三〇三	まどひ	三三〇三
社頭の警蹕	四三〇九	かりそめなること	三三〇九	無益に一生涯を送る	三三〇一
住吉	三三〇〇	快樂	三三〇六	無常	三三〇六
大神宮	四三〇一	願望	三三〇六	無常の身に迫る	三三〇五
玉垣	三三〇九	事と志	四三〇九	無常變易の境	三三〇三
なまめかし	三三〇八	雑事	三三〇三	名利	三三〇九
橋本	三三〇一	死	三三〇六	夢	三三〇一
平野	三三〇〇	四季と生老病死	四〇八八	世を食る	三三〇一
松の尾	三三〇二	静かに一生を過す	三三〇三	同	三三〇八
三輪	三三〇〇	暫く樂ぶ	三三〇三	醉	三三〇三

〇神仙調	四三〇五	〇下無調	四三〇三	〇生死の相に與らず	三三〇一
〇神泉苑	四三〇八	〇笙川笛	四三〇〇	〇生死の到来	三三〇四
〇神泉苑の池	四三〇九	〇淨衣	四三〇四	〇精進	三三〇九
〇眞俗	四〇八三	〇聖海上人	四三〇九	〇盛親僧都	三三〇一
〇樞太瓶	三三〇五	〇生 活	三三〇三	〇装束「服装」を見よ	三三〇八
〇寢殿斗南枕	三三〇九	〇正月、新年		〇常住	三三〇八
〇新年「正月」を見よ		さきちやう	四三〇八	〇生住異滅	四〇八二
〇晋の王儉	四三〇八	四方拜	三三〇二	〇常住平生の念	四三〇一
〇神妙	四三〇七	空	三三〇六	〇正直	四三〇一
〇人倫	三三〇五	〇聖教	四三〇三	おのづから正直の人	三三〇一
〇人倫に遠き振舞	三三〇二	〇上月	四三〇〇	富	四三〇三
〇新院(花園院)	三三〇七	〇相 國	三三〇七	〇聖徳太子	三三〇四
〇霜	三三〇九	〇常在光院	四三〇五	〇同(太子)	四三〇五
〇下野入道信願	四三〇五	〇生死「生死」を見よ		〇浄土宗	三三〇五
〇下毛野武勝	三三〇二	〇障子		〇浄土寺の前関白(師教公)	三三〇六
〇答	四三〇六	松下禪尼が事	四三〇〇	〇商人	三三〇六
〇下法師	四三〇〇	繪	三三〇四	〇靜然上人	四三〇八

○上の穴(横笛)	四二ノ四	○宿執開發の人	四〇四ノ一	時を知る	三八八ノ四
○城介義景	四三ノ二	○主上の御惱	四三三ノ二	負けじと打つ	三八〇ノ一
○城陸奥守泰盛	四三ノ七	○出家	三九ノ九	○勝負のまけわざ	四七ノ四
○生佛(盲人)	四三ノ三	○出産	四〇七ノ二	○勝利	四三三ノ六
○聲明	四三ノ九	機嫌	三三ノ八	○書簡	三三ノ二
○稱名一追福	四二ノ八	呪	三九ノ二	悪筆	三三ノ二
○情欲	三七ノ八	○順徳院	三九ノ二	代筆	三三ノ二
○上臈一下臈	四三ノ七	○舞を學ぶ	三三ノ七	古き	三三ノ五
○聖靈會	四三ノ七	○首楞嚴經	四三ノ四	無音の挨拶	四二ノ七
○性惠法親王(綾小路の宮)	三三ノ一	○證空上人	三七ノ五	雪のたより	三三ノ九
○庄園	三三ノ四	○乘願房	四四ノ六	旅行先より都へやる	三三ノ一
○釋迦念佛	四三ノ二	○承仕法師	四二ノ二	○食一徳	三六ノ四
○赤舌日	三六ノ二	○繩床	四〇ノ八	○食事一「飲食、食物」を見よ	三三ノ八
○社頭の警蹕	四三ノ九	○勝絶調	四二ノ四	○職分	三三ノ八
○謝靈運一惠遠	三七ノ二	○證人	三九ノ八	○食物一「飲食、食物」を見よ	三三ノ八
○酒宴	四二ノ一	○勝負事	三九ノ五	○所課	三九ノ五
○宿河原	三六ノ四	勝負を好む人	三九ノ五	○書畫	三九ノ五

悪筆	三七ノ二	多くて見苦しからぬ	三五ノ二〇	萬葉集	四三ノ二
出産の繪	三三ノ一〇	源氏物語一「源氏物語」を見よ	三三ノ一	目錄	四二ノ六
拙からず走り書	三八ノ八	古今集	三三ノ一	文選	三三ノ八
亡き人の遺物	三三ノ四	莊子(南華の篇)	三三ノ八	唐の書	三八ノ二
能書	三三ノ三	新古今集	三三ノ四	老子	三三ノ八
人の才能	三八ノ二	西宮記	三三ノ二	李部王の記	三九ノ六
屏風障子などの繪	三三ノ四	政事要略	四三ノ三	梁塵秘抄	三三ノ九
○所化	四三ノ五	先賢の書	三三ノ四	六時禮讚	四三ノ八
○所作	四三ノ九	禪林の十因	三三ノ七	論語一「論語」を見よ	三三ノ二
○諸司の下人	三三ノ四	道風書の和漢朗詠集	三三ノ四	○白川	三三ノ二
○書寫の上人	三三ノ五	玉造	四二ノ五	○白河院一北首	三三ノ九
○處世	三三ノ五	白氏文集	三三ノ八	○白拍子の起源	四三ノ八
機嫌	四〇七ノ二	文(經書)	三三ノ七	○しら梵字	三三ノ六
感	三三ノ二	平家物語一「平家物語」を見よ	三三ノ二	○風	三三ノ二
○書籍一「讀書」参照	三三ノ二	北山抄	四三ノ二	○事理	四〇九ノ九
一言芳談	三三ノ二	法事讚	四三ノ二	○思慮	三三ノ四
延喜式	三三ノ一	枕草紙一「枕草紙」を見よ	四三ノ一〇	○しれたる女房	三三ノ一

○しれもの	四〇〇、三	好みて明し暮す人	三六〇、五	○住家「家、住居」を見よ	三三二、一〇
○しろろり	三三三、二〇	上手の教訓	三六〇、一	○住吉	三三二、一〇
○白き絲	三三三、二	○鈴「内侍所	三三二、五	○寸陰	三七八、五
○慈惠僧正	四三三、八	○數珠	三四八、六	○するすみ	四〇二、一〇
○紫苑	四〇〇、九	○同	四〇九、七	○水干	四〇二、一〇
ス		○薄	四〇〇、八	蜘蛛のいかきたる	四三三、一
○透垣	三三三、七	○硯	三三三、八	白きに鞘巻をさすせ	四三三、七
○勝れたる人	三三八、二	筆の多き	三三八、八	○隨身のふるまひ	四三三、一〇
○資季大納言入道	三九六、六	やない筈	四三三、八	○睡眠	三七八、二
○資朝卿	三九六、六	○すゝるなる人	四三三、二	○末の世	三三〇、二
○植木	四〇七、八	○藤	四三三、二	セ	
かたはもの	四〇七、四	○葦の御簾	三三三、二	○生	三三〇、五
西園寺内大臣	四〇六、九	○暮春の家	三三三、七	○清閑寺僧正	四〇二、七
爲兼大納言入道を羨む	四〇七、一	○實村	三七八、一	○四宮の説	四三三、二
むく犬	四〇六、二	○箕子	三三三、七	○生活	四三三、二
○雙六	四〇六、二	○周防内侍	三三三、二	諸縁をやめよ	三三二、三
		○炭「御前の火爐	四三三、四		

○生活の苦	四〇三、三	○聖人のいましめ	三九二、二	○世間の浮説	四二一、九
恒の産	四〇三、二	○聖人の心	四三三、五	○世事	三七九、四
○清獻公	四二五、二	○清暑堂の御遊	三七二、〇	○世俗の事	四〇六、四
○成功	四二五、七	○盛衰	三三三、八	○節會	三七三、八
○性骨	四二二、二	○清少納言	三七二、二	○任大臣	三七三、八
○生死「死」参照		○政治	四三三、一〇	御國讓	三七三、六
愛情	三七〇、八	起請文	四三三、一〇	○説經	四三三、七
出でんと思ふ	三七〇、四	儉約	四三三、五	○説經師	四三三、六
牛と飼主	三七〇、四	詩歌、音楽	三三三、七	○殺生	三七九、一
生死の相に與らす	三七〇、二	仁政	四〇三、四	○利那	三七八、七
生死の到来	四三〇、四	民の飢寒	四〇三、二	○説法	三七七、七
○精神	四三〇、二	聖の御代	三三八、二	○是法法師	三七七、五
○聖人、賢人		本末	四二五、三	○蟬「命	三三〇、八
愚者の非難	三三三、三	○政治要略	四三三、三	○善惡	
賢女	三三八、三	○誠實	四三三、三	悪には疎く	三三〇、二
時	三三八、四	○招魂の法	四三三、二	不可は一條也	三三八、二
富	三三三、二〇	○小人「財	三三三、一	吉日悪日	三七九、五

酒	四二八ノ二	○先途	三六〇ノ七	老法師	四二五ノ一
四重五逆以上の悪事	三六〇ノ五	○膳部	三五〇ノ二	老法師と小童	四二八ノ七
善に近づく	三五〇ノ一	○千本の釋迦念佛	四二五ノ二	強盜法印	四二五ノ三
善に誇らず	三五〇ノ二	○千本の寺	四二五ノ二	高野大師	四二六ノ六
不善の戯れ	四〇九ノ四	○宣命	三七三ノ八	貌醜き	三九二ノ三
未曾有の悪行	三七六ノ九	○禪林	三四〇ノ八	唐の狗	三九七ノ九
○善觀房	四四五ノ九	ソ		木に登りて競馬見る	三四〇ノ一
○善業	四〇九ノ八	○僧侶		木の端	三二七ノ〇
○善根	四二八ノ二	足鼎被きたる僧	三四六ノ九	禁獄	四二二ノ四
○前栽「庭園」を見よ		あそび法師	三四八ノ一	行雅僧都	三四〇ノ一〇
○浅才の人	三八三ノ八	諸證の禪師	四二九ノ一〇	行法宣印	四三二ノ四
○賤人	三八二ノ六	安樂	四四五ノ八	具覺坊	三六六ノ一
○先祖の譽	四三三ノ二〇	石清水詣の僧	三四六ノ三	藝能	四三三ノ二
○選擇	四三五ノ八	大秦の善觀房	四四五ノ九	幾蓮上人	四〇一ノ六
○先達	三四六ノ八	優婆夷	三七六ノ八	權貴に交はる	三六二ノ五
○先達後生を恐る	四四二ノ九	優婆塞	三七六ノ七	賢助僧正	四三三ノ七
○禪定	四〇九ノ九			顯密の僧	四二二ノ三

弘舜僧正	四三三ノ二	清閑寺僧正	四二〇ノ七	梅尾の上人	四〇三ノ二
弘融僧都「弘融僧都」を見よ		説經師	四二四ノ八	頓阿	三六三ノ一〇
後七日の阿闍梨	三三四ノ三	是法法師	三八七ノ五	遁世の僧	三六六ノ二
虚無僧「虚無僧」を見よ		増賀聖	三七七ノ九	奈良法師	三六六ノ五
三味僧	三九二ノ三	僧にならんとせし人	四二四ノ七	西大寺靜然上人	四〇六ノ八
慈鎮和尚	四四五ノ一	大衆	四三三ノ九	人情	三六四ノ一
四部の弟子	三七六ノ七	大納言法印	三六八ノ七	如輪上人	四二五ノ二
心戒	三四四ノ九	道眼上人	四三三ノ三	念佛三味の聖	三四四ノ七
下法師	四〇〇ノ二	道眼ひじり	四三三ノ四	比丘	三七六ノ七
聖海上人	四九九ノ九	導師	三八七ノ八	比丘尼	三七六ノ七
盛親僧都	三三三ノ一	同	四二四ノ九	ひたぶるの世捨人	三二八ノ一
證空上人	三七六ノ五	竹谷の乘願房	四三三ノ六	人に疎くてありなん	三六一ノ六
承仕法師	四二〇ノ二	兒誘ふ	三七七ノ三	人の上を知れる	三六一ノ二〇
所化	四三三ノ五	定額	四三三ノ一	法	三七二ノ一
書寫の上人	三三三ノ五	兵の道を立つ	三六二ノ八	法顯三藏	三六四ノ九
しるしあらん僧	三四八ノ五	寺法師	三六五ノ九	法然上人	三三九ノ二
慈惠僧正	四三三ノ八	登蓮法師	四三三ノ〇	本寺本山	四二二ノ二

明雲座主	四〇四ノ二〇	〇尊者	四〇六ノ六	〇大覺寺殿	三七四ノ五
文字の法師	四二九ノ二〇	〇染紙	三二一ノ八	〇大極殿	三九一ノ六
吉水和尚	三五六ノ三	〇染殿大臣	三三〇ノ二	〇太子(聖德太子)	四四三ノ五
隆辨僧正	四八ノ二〇	〇染物	四八ノ二二	〇大事	
律師	三九ノ三	〇空		急ぐべし	四二五ノ九
連歌しける法師	四七ノ二〇	新年	三九ノ六	一大事の因縁	四二七ノ四
圓伊僧正	四七ノ九	空のなごり	三九ノ九	一の大事	四二六ノ八
〇總門	三三ノ二	暮春	四一ノ五	命を終ふる大事	三九三ノ四
〇賊	三七ノ二	よくものを容る	四九ノ五	思ひ立たん人	三五ノ四
〇息災なる人	四七ノ三	〇虚言―「言語」を見よ		公私の大事	四一七ノ六
〇俗姓―幾蓮上人	四〇一ノ六	〇虚言多き世	三五九ノ九	終焉	四〇三ノ一〇
〇糲飯	三五七ノ二			生住異滅の移り變る	四〇八ノ一
〇譏	三九二ノ八			俄の大事	三八〇ノ八
〇卒都婆	三五五ノ三			人間の三大事	三六六ノ二
〇同	四三ノ八			人間の四大事	三八七ノ二
〇圓別當入道	四六ノ五			まことの大事	四一六ノ二〇
〇孫長	三三ノ二			〇大師勸請の起請	四三ノ八

〇太神宮	四三ノ一〇	建築	三六ノ八	〇道人	三七八ノ八
〇太神宮の遙拜	三九ノ二	造り果てぬ處を残す	三六ノ三	〇道心者	三五ノ九
〇大臣の大饗	四〇八ノ三	〇大理の座	四四ノ一	〇堂上す	三七三ノ八
〇大將	三八八ノ七	〇盜		〇常代	四五ノ五
〇大衆	四三ノ九	親、妻子の爲	四三ノ二	〇道場	三八二ノ九
〇太衝の太の字	四二ノ五	窮乏	四三ノ二	〇唐土	四三ノ四
〇大食	三五三ノ三	國に賊あり	三七ノ一	〇桃李	三三ノ一
〇怠惰―「懈怠」を見よ		後七日の阿闍梨	三五四ノ三	〇鷹	
〇臺所の棚	四八ノ五	貧者	三九ノ三	生きたる犬の足	三八八ノ九
〇大納言法印	三六八ノ七	まことの盗人	四三ノ六	大鷹と犬	四一六ノ八
〇大に就き小を捨つる	四六ノ八	破籠を盗む	四八ノ九	小鷹と犬	四一六ノ八
〇大福長者	四三九ノ二	〇道具―「器物、道具」を見よ		弱腰をとる	三五ノ九
〇退凡下乗の卒都婆	四三ノ八	〇道眼		〇鷹飼	三五ノ二
〇大門	四三ノ四	一切經	四三ノ三	〇高倉院の法華堂の僧	三九二ノ二
〇大理	三七ノ二	八災	四三ノ四	〇隆親卿からさげ	四三ノ二
〇内裏		〇道志	四三ノ三	〇高道戸	三三ノ二
五條の内裏	四六ノ一	〇道心	三三ノ三	〇寶	三八五ノ二

○財 <small>たから</small> 「財寶」を見よ	四〇〇ノ一	○達人の人を見る眼	四〇〇ノ一	○たんばのこゆき	四二ノ一〇
○薪	三三ノ七	○田鶴のおほいどの <small>たてまつりもの</small> (基家)	四四ノ一	○談話、物語	三三ノ二
○竹谷の乗願房	四三ノ六	○奉 <small>たてまつりもの</small> 物	三九ノ三	○同じ心ならん人	四七ノ五
○竹のあみ戸	三二ノ一〇	○七夕	三八ノ三	○小賢しき子	四二ノ九
○竹の園生	三三ノ七	○多能	三八ノ六	○世間の浮説	四四ノ六
○他國の風	四二ノ七	○樂 <small>たのしみ</small> 「快樂」を見よ	四六ノ二	○のどかなる	四二ノ九
○多少	三五ノ八	○恐む	四七ノ二	○人の是非	四二ノ九
○たと今の一念	三七ノ一	○平宣時朝臣	四七ノ二	○爲兼大納言入道	四〇七ノ一
○同	三七ノ八	○玉	三八ノ一	○爲則	三六ノ一〇
○たゞうど	三七ノ八	○玉垣	三二ノ九	○智、智惠	三六ノ九
○同	四二〇ノ二	○玉造といふ書	四二六ノ五	○偽	三六ノ九
○忠守(醫師)	三七四ノ五	○玉の肩 <small>さかひ</small> の當なき	三九ノ四	○酒	四〇一ノ一
○たゞり	四四ノ一〇	○魂祭	三九ノ五	○智者は愚者	四八ノ二
○太刀	三三ノ二	○民	三八ノ二	○人に争ふ	四二ノ八
○橋	四〇〇ノ七	○談義	四三ノ四		
○龍秋(樂人)	四二ノ一	○同	三五ノ二		
○たづ君	四四ノ一	○檀那	四四ノ二		

人に勝らん事を思はゞ	三九〇ノ二〇	○中の穴(横笛)	四二ノ五	○珍奇	三三ノ七
人の智をはかる	四九ノ七	○近づかまほしき人	四九ノ九	○浅才の人	三三ノ七
分を知る	三九二ノ二	○近友	四五〇ノ二	○よからぬ人	四〇〇ノ二
まことの智	三八ノ一〇	○カ―老人	三九ノ一	○定額―諸寺の僧	四三ノ二
まことの人の	三八ノ二	○持經	三七ノ五	○定額の女孺	四三ノ二
勝りたるを興とす	三二〇ノ八	○畜生殘害	三八ノ一	○廳屋	三七ノ二
無智	三三ノ一	○竹林院入道左大臣	三六ノ五	○着陣	三七ノ二
同	四七ノ五	○音類―人	三五ノ三	○勅勸	四三ノ二
求むる人	三三ノ九	○兒 <small>こども</small>	三四ノ七	○勅書	三七ノ三
善き友	三六ノ二	○比叡の兒	三四ノ七	○塵塚の塵	三五八ノ一〇
世に勝れたる	三八ノ五	○御室の兒	四七ノ二		
○誅	四三ノ五	○地獄	四八ノ三		
○柱 <small>はしら</small>	三七ノ二	○遅速	四三ノ三		
○同	四七ノ八	○持佛堂	三五ノ八		
○中陰	三三ノ七	○陣	三三ノ三		
○忠孝のつとめ	三六ノ二	○上卿事を行ふ	三三ノ三		
○住持 <small>ぢゆうぢ</small>	四三ノ三	○夜の設	三三ノ二		

曉	三九五ノ二〇	冬	三三八ノ二	碁	四三九ノ七
秋	四三〇ノ一	むら雲がくれ	三九五ノ三	物を一具に整ふ	三六四ノ一
雨	三九五ノ二	目にて見るものかは	三九六ノ二	〇拙きを知る	三九二ノ一〇
有明月	三六六ノ一	望月	三九五ノ二〇	〇土大根	三六六ノ一〇
ある人	三三六ノ一	同	四三〇ノ二	〇土御門相國	四三〇ノ九
朧月	四三〇ノ八	夕月夜	三七四ノ九	〇つと	四三〇ノ二
九月十三日	四三〇ノ八	よき人の家	三三三ノ五	〇綱	三三三ノ一
隈なき	三九五ノ二	良夜	四三〇ノ八	〇恒の心	四〇三ノ二
木の間のかけ	三九五ノ二	妻宿	四三〇ノ八	〇恒の産	四〇三ノ二
酒	四二九ノ二	慰藉	三九二ノ二	〇角あるもの	四二九ノ八
椎柴白樫の葉の上	三九五ノ三	〇撞鐘	四三〇ノ五	〇兵	三九八ノ六
月と露	三九二ノ二	〇次さまの人	三九二ノ五	〇妻	四二七ノ三
閨	三九六ノ二	〇作花	三九五ノ二	〇妻戸	三三三ノ四
配所	三九二ノ二	〇つげもの	四二二ノ二	〇同	三三三ノ七
墓所	三三三ノ三	〇葛	四〇〇ノ九	〇爪	四二七ノ一〇
八月十五日	四三〇ノ八	〇拙き人	三三八ノ三	〇露	三三〇ノ六
笛吹く男	三三二ノ一〇	官位		あだし野	三三〇ノ六

月と露	三九二ノ二	〇庭園	三三八ノ二	〇超弁(清獻公)	三三三ノ三
〇貫之	三三三ノ二	石草木の多き	三三八ノ八	〇出過ぎたる人	四二五ノ二
〇鶴	四四〇ノ一	徒らに廣き	四四〇ノ二	〇鐵一金	三六六ノ八
〇鶴岡の社參	四六八ノ八	心の儘ならぬ	三三三ノ九	〇手なきもの	四二八ノ三
〇つれづれ	三三三ノ一	島	四四四ノ四	〇天下を保つ程の人	四二二ノ六
〇つれづれわぶる人	三三三ノ九	暮春	三三三ノ五	〇傳記	三三三ノ三
〇追善	四三三ノ六	落花	三九五ノ三	〇殿上人	四三三ノ六
〇追儼	三三三ノ二	わざとならぬ	三三三ノ六	妖物	四三三ノ六
次第	三三三ノ二	〇銚子	四三三ノ二	武を好む	三三三ノ二〇
年の暮	三三三ノ二	〇調子	四三三ノ二	〇天性一藝能	四〇五ノ九
〇追儼の上卿	三三三ノ二	鐘	四二二ノ六	〇傳説の眞偽	三三三ノ二
〇追福	四三三ノ九	横笛	四二二ノ三	〇顛倒の相	四三三ノ一
テ		〇調度	三三三ノ三	〇天地	四三三ノ一〇
〇定家(京極入道中納言)	四〇〇ノ五	倚慮の御所	三三三ノ三	〇天竺一法顯三藏	三三三ノ九
〇同	四三三ノ二	多き	三三八ノ八	〇天王寺の舞樂	四三三ノ三
〇帝王「君」を見よ	四三三ノ二	主人の心	三三三ノ四	〇天王寺の伶人	四三三ノ三
		昔覺ゆる	三三三ノ七		

○寺	朽廢	三三三ノ三	○とうしのみ	四三三ノ一	○梅尾上人	四〇三ノ二
西明寺	忍びて籠る	四二二ノ六	○闕	三三三ノ六	○時	三三八ノ四
寺院の號	天王寺	三三三ノ四	○同	三三八ノ二	遇はぬ	三三八ノ三
東大寺	東大寺	四三三ノ三	○東大寺の神輿	四三三ノ八	遇ふ	四三三ノ三
那蘭陀寺	那蘭陀寺	四三三ノ八	○藤大納言	四三三ノ一	孔子	四三三ノ四
仁和寺	仁和寺	四三三ノ二	○凍餒の苦	四三三ノ三	○土器	三七三ノ六
遍照寺	遍照寺	四二〇ノ二	○動物虐待	三六五ノ七	○敏き時は則ち功あり	四二七ノ三
法成寺	法成寺	三三三ノ二	○同	三八八ノ一	○常磐井の相國(實氏)	三七二ノ三
三井寺	三井寺	三三三ノ〇	○登蓮法師	四三三ノ二	○ときびじ	三三三ノ四
山寺に籠る	山寺に籠る	三三三ノ七	○洞院右大臣(實泰)	三七二ノ三	○讀經	三三三ノ九
ト	ト		○洞院左大臣(實隆)	三三三ノ六	惟繼中納言	三三三ノ九
○冬至	○冬至	四二〇ノ八	○科	四三三ノ三	法華讀誦の功	三三三ノ五
○東寺の若宮	○東寺の若宮	四三三ノ九	あらじと思はゆ	四三三ノ二	○時頼の母	四三三ノ九
			牛馬の主	四三三ノ七	○時頼	四三三ノ九
			内心の科	四三三ノ二	○徳	三三三ノ七
			人を蔑にする	四三三ノ五	己を専とする慰	三三三ノ七
			科のもの	四三三ノ三	盛親僧都	三三三ノ七

食	たけたるさま	三六六ノ五	○徳大寺實基(この大臣)	四三三ノ二〇	一錢を累ぬ	三七八ノ六
	恐むべからず	四三三ノ四	○徳大寺の太政大臣	三三三ノ六	賢人	三三三ノ一〇
土大根	土大根	三三三ノ四	○年の暮	三三三ノ五	四大事	三八七ノ二
人の徳	人の徳	四二二ノ九	○整りたるは悪し	三三三ノ二	徳をつく	四三三ノ二
質	質	三七三ノ八	○舍人	三三三ノ五	富を得る方法	四三三ノ三
まことの人	まことの人	三三八ノ三	○同	四三三ノ九	貧富別くる所なし	四三三ノ八
○得失	○得失		○主殿司	三七三ノ六	○頓阿	三三三ノ二〇
愚にして謹める	愚にして謹める	四三三ノ五	○主殿寮の人数だて	三三三ノ九	○遁世	三五二ノ二
巧にして恣なる	巧にして恣なる	四三三ノ五	○宿直人	三三三ノ三	遁世者の覺悟	三七三ノ七
○得失の境	○得失の境	三三三ノ一	○鳥羽殿	三三三ノ五	遁世の僧	三三三ノ二
○獨身	○獨身	四二七ノ二	○鳥羽の作道	三三三ノ五	ひたぶるの世捨人	三八八ノ一
○讀書	○讀書		○鳥羽院	四三三ノ三	人たるしるし	三五二ノ一
古人を友とす	古人を友とす	三三三ノ七	○慮	三三三ノ三	○食慾	三三三ノ二
暮春の家	暮春の家	三三三ノ八	○單	三三三ノ八	○友	三三三ノ二
○徳大寺右大臣(公孝)	○徳大寺右大臣(公孝)	四三三ノ三	○遠き物	三三三ノ二	同じ心ならん人	三三三ノ二
○徳大寺實基(相國)	○徳大寺實基(相國)	四三三ノ三	○宮	三三三ノ二	心の友	三三三ノ五
					談話	四三三ノ四

つゆ違はざらん人	三四ノ一	珍禽	三五ノ二〇	大森殿の女房の名	三八ノ二
見ぬ世の人	三四ノ七	鶴	四四ノ一	面影	三五ノ二
善き友三	三八ノ二	天性	三八ノ二	強盜法印	三四ノ三
わるき者七	三八ノ九	鷲	三三ノ二	寺院の號	三八ノ五
〇具氏宰相中將	三五ノ六	鷓鴣	三七ノ六	人の名	三八ノ七
〇具守(堀河内大臣)	三七ノ四	春	四五ノ三	童名	四四ノ一
〇鳥		梟	三七ノ七	〇名「名譽」を見よ	
有用と無用	三五ノ六	喚子鳥	四九ノ三	〇内記	三七ノ八
枝につくる	三四ノ二	王子猷	四五ノ二	〇内外の文	三四ノ四
大雁	四二ノ二	〇鳥柴の故實	三八ノ九	〇内侍所(鏡)	三三ノ六
鳥	三三ノ三	〇鳥部野	三五ノ二	〇内侍所	
雁「雁」を見よ		〇鳥部山の煙	三七ノ三	御神樂	四〇ノ二
雉「雉」を見よ		〇名	三三ノ六	御鈴の音	三三ノ五
水雞	三六ノ二	異名	四四ノ三	〇典侍	三三ノ一
心慰ふ	三〇ノ四	ナ		〇内證「外相	四〇ノ九
承仕法師	四〇ノ二			〇内辨	三七ノ八
鷹「鷹」を見よ				〇臈「鹿茸	四〇ノ五

〇中子	三三ノ八	〇なりひさし	三三ノ二	〇二品禪門(行忠)	四〇ノ四
〇半空	四二ノ七	〇業平	三五ノ一	〇人我の相	三七ノ一〇
〇なか人	四五ノ二	ニ		〇人間「人」を見よ	四九ノ四
〇長押	三六ノ一	〇膠	三八ノ二	〇人間常住のおもひ	三三ノ九
〇謎々	三七ノ五	〇二月	四四ノ二	〇人數たて	三三ノ八
〇夏		〇西大寺靜然上人	四〇ノ八	〇任大臣の節會	
秋は通ふ	四八ノ五	〇二の舞の面	三三ノ一	〇仁和寺	
曙の別	三七ノ九	〇庭「庭園」を見よ		足鼎を被きたる僧	三六ノ九
住居	三八ノ二	〇雞	三五ノ六	石清水詣の僧	三四ノ三
〇撫子	四〇ノ八	〇庭の儀		狐	四四ノ九
〇四十九日の佛事	三六ノ七	乾砂子	四〇ノ二	眞乘院	三三ノ一
〇綱	三三ノ三	故實	四〇ノ一〇	兒誘ふ僧	三三ノ二
〇同	三三ノ二	〇入宋の沙門	四三ノ一〇	〇如幻の生の中	四六ノ七
〇那蘭陀寺	四三ノ四	〇にほひ	四三ノ三	〇女性	四三ノ五
大門	四三ノ四	〇勺	四三ノ一	〇女孺	四三ノ二
道眼聖の談義	四三ノ四	〇日本「單律の國	四三ノ四	〇如輪上人	四四ノ二
〇奈良の都	三九ノ二			〇女院の御所	四〇ノ二

○にれうち噛みて 四四ノ一	○九品の念佛 三八ノ四	○信清(太秦殿) 三二ノ一
○鶴一招魂の法 四三ノ二	○具法法師 三八ノ五	○宣時朝臣 四三ノ二
○主ある家 四九ノ二	○千本の釋迦念佛 四四ノ二	○野山一酒 四九ノ六
○盗「盗」を見よ 四九ノ二	○追善 四三ノ八	○野分 三八ノ五
○布の帽類 三三ノ三	○念佛三味の聖 三四ノ七	○沛艾の馬 四〇ノ八
○ねこまた 三六ノ八	○農 四〇ノ五	○配所一月 三九ノ二
○鼠 三七ノ三	○能ある人 三六ノ八	○賣買 三七ノ二
○涅槃會 四三ノ七	○無能 三七ノ八	○坊 四二ノ五
○年齢 四三ノ七	○旅行先 三六ノ三	○寶藏 四二ノ二
○老いぬるを知らず 三三ノ六	○能書 三五ノ二	○放言 三七ノ二
○數へて知る 三三ノ八	○能をつかんとする人 四〇ノ六	○寶藏 三五ノ二
○念佛 四五ノ九	○鋸の屑 四〇ノ九	○坊主 三六ノ二
○一念の念佛 四五ノ九	○荷前の使 三八ノ三	○庖丁者 四六ノ五
	○野宮 三三ノ七	○胞腹(女房) 三八ノ二
		○放免 四三ノ二

○訪問 四二ノ二	○妖物 四六ノ一	○八月十五日 四五ノ八
○長居 四二ノ二	○栗形の緒 三七ノ七	○蓮 四〇ノ八
○用事なきに行く 四二ノ一	○小箱 三六ノ四	○池 四〇ノ八
○放埒 四〇ノ一	○手箱 三七ノ九	○王儉 四三ノ八
○墓 三五ノ二	○文の箱 三七ノ八	○八災 四五ノ四
○けうとき山 三五ノ七	○箱風情のもの 三八ノ二	○花 四五ノ四
○田となる 三四ノ一	○鳥 四四ノ四	○歌の詞書 三五ノ四
○古き墳 四四ノ一	○秦の重躬 四四ノ五	○片田舎の人 三六ノ四
○博士 四六ノ二	○恥 四四ノ五	○唐めきたる名 四〇ノ二
○はかせ(師範) 四二ノ五	○汗 三九ノ一	○心つく 三九ノ一
○萩 三八ノ四	○怒り恨むる事勿れ 四九ノ二	○咲きぬべき程の槍 三九ノ三
○同 四〇ノ八	○近火 三五ノ二	○酒 四九ノ二
○博學の士 四三ノ〇	○生活の苦 四〇ノ三	○散り萎れたる庭 三九ノ三
○白氏文集 三四ノ八	○長命 三三ノ〇	○作り花 三五ノ二
○博奕 三八ノ三	○人に愛せられぬ 三九ノ三	○鳥つくるすへ 三五ノ一
○白頭の人 三九ノ三	○人の與ふる 三九ノ三	○花の盛 四二ノ九
○馬藝 四五ノ二		○目にて見るものは 三六ノ二

○花(草を含む)	三三〇八	桃李	三三〇一	○法曹	四三〇九
朝顔	四〇〇九	葛	四〇〇九	○法令	四三〇一〇
葵「葵」を見よ	三三八二	撫子	四〇〇八	○はまゆか	四三〇一
菖蒲	三三八二	萩「萩」を見よ	三三〇二	○萬有「幻化	三三九〇四
梅「梅」を見よ	四〇〇八	蓮「蓮」を見よ	三三〇二	○盤「透調	四三〇一五
杜若	四〇〇八	花橘	三三〇二	○萬事は皆非也	三三九〇二
苧薺	四〇〇九	藤「藤」を見よ	四〇〇九	○萬事本を正しくすべし	四二五〇一
黄菊	四〇〇九	藤袴	四〇〇九	○判断	四二五〇八
菊	四〇〇九	山吹「山吹」を見よ	三三八三	○犯人	四三三〇六
桔梗	四〇〇八	夕顔	四〇〇九	○萬人の師	四〇六〇一
葛	四〇〇九	龍膽	四〇〇九	○腹ふくろくわさ	三三八〇七
紅梅「梅」を見よ	三九九七	吾木香	四〇〇九	○春	三三九〇九
菖蒲	三九九七	萩	四〇〇八	雨風	三三九〇九
櫻「櫻」を見よ	四〇〇九	女耶花	四〇〇九	家を立ち去りて花を思ふ	三三九〇二
紫苑	四〇〇八	○花園の左大臣	三三〇二	清げなる男の讀書	三三九〇五
薄	四〇〇八	○花橘	三三〇二	景色	三三九〇六
		○法(法律)	四〇〇三	鳥の聲	三三九〇七

夏の氣	四〇八〇四	○餅事する人	三三六〇九	○格	三三九〇一
花	三三〇八	○東	三三〇八	○筆受	三三九〇二
雪佛	四三三二	○東三條殿	四〇八〇三	○筆蹟「書畫」を見よ	四〇二〇六
ゆくゝ知らぬ	三三九〇二	○東山	三三〇二	○悲田院	四〇二〇六
喚子鳥	四三三二	○比丘	三三〇七	○人	三三九〇二
○春の草	三三〇六	○比丘尼	三三〇七	衣食住	三三九〇二
ヒ		○日暮れ途遠し	三三〇三	命	三三〇〇七
○日		○秘藏	四三〇七	同	三三二一〇
吉凶	三三九〇二	○秘藏のこと	四三〇二	願望	三三二〇三
赤舌日	三三八二	○ひさくの柄	四三〇二	心	三三二〇三
人の死なざる日	三三九〇三	○膝幸(女房)	三三八二	五十にして藝の拙き	四〇六〇二
一日の事	三三九〇二	○久資	四三〇六	四十以後の人	三三八〇四
○火一様	三三九〇二	○膝突	三三〇三	同	四〇五〇四
○比叡(延暦寺)	三三九〇二	○非修非學の男	三三〇一〇	慈悲の心	三三九〇五
大師勸請の起請	三三九〇八	○ひじりめ	四二五〇一	性	四三三〇二
兒	三三九〇七	○直垂	四三〇三	所願無量	三三九〇六
		○筆策	三三〇五	少し心ある際	三三九〇八

音類	三五〇三	一錢を累ぬ	三七八〇六
天地の靈也	四三六〇〇	憂ふべからず	四四〇〇五
遁世	三五〇一	財を以て禮とす	三九二〇一
名	三八三〇七	四大事	三八七〇二
情 <small>なまけ</small>	三五〇二	酒宴を好む	三八一〇七
人間の營み	四二二〇一	錢あれども用ひざる	四四〇〇五
人間の儀式	三八〇二〇	錢を奴の如く用ふ	四三九〇三
人間の種	三二七〇四	徳人	三七二〇八
人間の望	四〇〇〇八	貧富別く所なし	四四〇〇八
木石にあられば	三四〇〇八	分を知らざれば盗む	三九二〇三
無智無能	四七〇七五	〇髪―鯉の羹	三八四〇一
物	四三六〇二	〇敏捷	四二七〇三
容貌	三八〇二	〇組	四三三〇一
世の人数	三九七〇八	〇ひもの木	四四七〇二
〇人鬼見	三四〇〇三	〇平野	三三二〇〇
〇人の鑑	三八〇〇八	〇平張うつ	四四〇〇五
〇人の是非	四二二〇九	〇平緒	三三三〇三
		〇枕杷の皇太后	三九二〇七
		〇琵琶法師	四四三〇六
		〇琵琶座の御劍	四三〇二二
		〇琵琶	三五七〇二
		〇支上	三五七〇二
		〇柱―「柱」を見よ	三三六〇五
		〇常に聞きたきは	三三六〇五
		〇牧馬	三五七〇二
		〇めくら法師の琵琶	四四七〇二
		〇火箸	四三三〇三
		〇生けるかひなし	四三九〇二
		〇貧、貧人	四三九〇二
		〇物語	四四七〇八
		〇佛の聲を學ぶ	四四三〇六
		〇誇るべからず	三三三〇二
		〇武士	四〇七〇一
		〇風雲の思	三七九〇二
		〇風月の才	三六五〇九
		〇夫婦―鳥獸蟲	三八九〇三
		〇封をつくる	四三三〇五
		〇笛	四三三〇五
		大かた物の音には	三六六〇五
		月下に吹きすさぶ	三四二〇三
		〇上手	四四二〇一
		〇笛と笙	四四二〇〇
		〇横笛の五つの穴	四四二〇二
		〇女の足駄にて作れる	三三三〇二
		〇舞樂―「音樂、舞樂、樂器」を見よ	三三三〇二
		〇不堪 <small>ふか</small>	四三三〇三
		〇不堪のきこえ	四〇五〇二
		〇不吉の例	四三三〇三
		〇服裝	四三三〇三
		〇大口	四三三〇四
		〇帷子	四三三〇三
		〇狩衣―「狩衣」を見よ	三三三〇一
		〇衣 <small>きぬ</small> 被 <small>かぶ</small>	三三三〇一
		〇濃き指貫	三三三〇二
		〇小袖	四三三〇四
		〇水干―「水干」を見よ	三三三〇二
		〇人間三大事の一	三三三〇二
		〇直垂	四三三〇三
		〇晝	四三三〇二
		〇夜	四三三〇二
		〇諒闇の年	三三三〇三
		〇男	三三三〇九

〇晝	四三三〇二	武勇の名	三三三〇二
服裝	四三三〇二	武勇の人	三三三〇二
夜	四三三〇二	平家物語	四三三〇五
〇病氣―「疾病、病人」を見よ	四三三〇二	〇病氣―「疾病、病人」を見よ	四三三〇二
〇兵 <small>ひょうちゆう</small> 杖の家	四三三〇二	〇平調	四三三〇三
〇病人―「疾病、病人」を見よ	四三三〇二	〇屏風	三三三〇四
〇屏風	三三三〇四	〇百薬の長	四三三〇九
〇百薬の長	四三三〇九	〇白蓮の交	三三三〇三
〇白蓮の交	三三三〇三	〇武、武士	三三三〇二
〇武、武士	三三三〇二	禽獸に近き振舞	三三三〇二
禽獸に近き振舞	三三三〇二	好む人	四三三〇二
好む人	四三三〇二	悲田院の幾蓮上人	四三三〇六
悲田院の幾蓮上人	四三三〇六	武の家	三三三〇二
武の家	三三三〇二		

○不具	三六四ノ一	○佛事	四三ノ七	○不便のわざ	四〇三ノ四
○不具者	四〇七ノ四	○加持香水	三六二ノ二	○文「文章」「書籍」「書簡」を見よ	三二八ノ七
○文車の文	三五八ノ一〇	○さまたげ	三八七ノ七	○文章	三二八ノ七
○梟	四四九ノ三	○四十九日の佛事	三九二ノ二	○作文	三三〇ノ七
○ふしはかせ	四四九ノ九	○佛神の奇特	三九二ノ二	○昔の反古	三三〇ノ七
○不信	四〇九ノ一〇	○佛神の本縁	四四九ノ九	○文武醫の道	三六六ノ三
○府生殿の御馬	四〇九ノ二	○佛前―善業	四〇九ノ七	○分別	三六〇ノ二
○覺鐘調	四四二ノ四	○佛道―佛、佛教」を見よ	三九二ノ〇	○分を知る	三九二ノ一
○臥猪の床	三三四ノ二	○ふつゝか	三九二ノ〇	○冬	三七五ノ三
○不善のたはぶれ	四〇九ノ四	○佛法―佛、佛教」を見よ	三六二ノ三	○曉の物語	四一九ノ五
○藤	三三二ノ二	○佛名	三六二ノ三	○酒	四一八ノ二
○藤原氏	三三二ノ二	○筆	三五八ノ八	○住居	三三八ノ二
○藤原氏	三三二ノ二	○硯に多き	三五八ノ八	○月	三三八ノ二
○不定	三三二ノ二	○もの書く	四〇九ノ三	○冬枯	三三八ノ八
○佛教―佛、佛教」を見よ	三三二ノ二	○やない筈	四〇九ノ八	○ふるき人	四三九ノ四
		○舟岡	三九七ノ三	○古き世	三三〇ノ六
		○船―もろこし船	三六二ノ一	○ふれ―ゆき	四二二ノ一〇

○平家物語	四四五ノ四	○邊土	四三ノ三	○佛、佛教	三六二ノ九
○蒲の冠者	四四五ノ四	○辨の乳母	三九二ノ九	○夷	四一八ノ三
○九郎判官の事	四四五ノ四	○便利	三七八ノ二	○戒	四一九ノ一
○作者	四四五ノ二	○寶篋印陀羅尼―追善	四三ノ七	○酒	四一九ノ一
○生佛に語らす	四四五ノ三	○反古	三三二ノ三	○參詣	四二九ノ六
○へたなり	三三二ノ一	○火影	四六ノ三	○聖教の一句	四〇九ノ五
○別殿の行幸	四二〇ノ二	○北山抄	四三ノ二	○推量	四三二ノ二
○蛇	四二〇ノ二	○北斗	三三二ノ〇	○第一の佛	四三七ノ六
○大井川に流す	四三二ノ二	○北面	四三ノ〇	○持佛堂	三五八ノ八
○神	四三二ノ二	○下野入道信願	四〇四ノ五	○丈六の佛	三三三ノ七
○龜山殿	四三二ノ七	○勅書	三三二ノ三	○仕うまつる	三三三ノ七
○徳大寺實基(大臣)	四三二ノ二〇	○法花堂	三三二ノ九	○佛道を願ふ	三三三ノ一〇
○變化の理	三六〇ノ八	○鐘―放免	四三ノ五	○佛問答	四三七ノ二
○遍照寺	四二〇ノ二	○菩提	三三二ノ二	○無常を知る	三三九ノ九
○辯説	三三二ノ三	○法燈	三三二ノ二	○夜の參詣	四二九ノ六

老少	三四ノ一	法花堂	三三ノ九	○本尊	三七ノ五
○時鳥	三二ノ一	無量壽院	三三ノ七	○煩惱―才能	三八ノ二〇
○法顯三相	三三ノ一	○法成就の池	四二ノ九	○本文	四三ノ九
○法顯傳	三四ノ九	○法然上人	三九ノ二	○堀河大納言(師信)	四五ノ五
○法金剛院の鐘の聲	四三ノ二	念佛	三九ノ二	○堀河殿―狐	四〇ノ九
○法師―「僧侶」を見よ	四三ノ二	往生	三九ノ五	○堀河内大臣(具守)	三七ノ四
○法事讚	四五ノ二〇	○法然上人の弟子	四五ノ八	○堀河の相國(基具)	三七ノ一
○法師にならんとせし人	四四ノ七	○譽―「名譽」を見よ	四五ノ八	○堀河院	三三ノ三
○法成寺	四四ノ七	○本歌	四五ノ二	○ぼろ	三八ノ五
額	三三ノ八	○本經	四三ノ二	○ぼろ―(虚無僧)	三八ノ四
事變じたる様	三三ノ三	○本草	三九ノ八	○梵論字(虚無僧)	三八ノ一
金堂	三三ノ六	○本寺	四〇ノ一〇	○妄想	四五ノ七
大門	三三ノ五	○梵字(虚無僧)	三八ノ一	○安心	四五ノ八
扉	三三ノ八	○本寺本山	四二ノ二	○亡者の追善	四三ノ六
南門	三三ノ六	○本	三八ノ四	○盲目	四四ノ三
		○本説	三三ノ九		
		○同	四三ノ二		

○摩訶止觀	三六ノ三	○雅房大納言	三八ノ七	賀茂祭の頃	三七ノ二
○まがり	三七ノ六	○呪	三三ノ六	十月	四三ノ一〇
○巻物	四五ノ七	噓	三三ノ八	後の葵	三九ノ一〇
○枕	三九ノ八	出産	四六ノ九	放免のつけもの	四四ノ三
○枕草紙	三九ノ三	○ますほの薄	四六ノ九	祭のあと	三九ノ七
枯れたる葵	三九ノ三	○又五郎なの	三七ノ一	都の人	三六ノ三
季節の文	三八ノ六	○松	三九ノ七	○政―「政治」を見よ	四五ノ五
○實(信義)	四〇ノ八	門松	三九ノ七	○萬里小路殿	四五ノ五
○誠	四八ノ二	薪	三五ノ七	○惑	三三ノ二
○まことの大事	四八ノ一	ともし	三九ノ二	色欲	三三ノ二
○まことの智	三六ノ二〇	○松下禪尼	四三ノ九	人生	三六ノ三
○まことの盗人	四三ノ六	○松茸	三八ノ三	惑へるもの	三六ノ七
○まことの道	三六ノ二	○松尾	三三ノ二	惑へるわれら	四三ノ一
○實の理	三七ノ一	○祭	三九ノ七	○眼	四四ノ六
○雅清(唐橋中將)	三四ノ二〇	大路	三七ノ七	○舞	四四ノ二
○雅實(久我の相國)	三七ノ六	片田舎の人	三六ノ七	七徳の舞	四四ノ二
				手	四四ノ六

男舞	四四ノ八	縁を離る	三二ノ二	味噌	四三ノ五
○まゝ子立	三九ノ三	敷ならぬ	三九ノ六	○御堂	三七ノ一
○萬葉集の長歌	四三ノ三	虱	三七ノ二	○御堂殿(道長)	三三ノ三
○慢心	四三ノ三	鳥獸蟲	三八ノ三	○道	
○満足	三七ノ二〇	非を知らず	三九ノ八	愛著の道	三二ノ一〇
○豆	三五七ノ六	身を養ふ	三六ノ五	幽玄の道	三六ノ六
○迷	三七八ノ四	身を修むる道	三八ノ三	至らざる	三九ノ七
あるじとして随ふ		○御講の廬	三三ノ二〇	一道にたづさばる人	四三ノ五
迷の心	三三九ノ一	○御垣が原	四三ノ八	大なる道	四三ノ二
女	三七七ノ二	○御溝—河竹	四三ノ六	恩愛の道	四〇ノ八
○鞠		○水草	三三ノ四	學する人	三六ノ二
泥土	四三ノ五	○御國讓の節會	三三ノ六	聞きて之に志す	四六ノ一〇
難易	三七九ノ二	○見ぐるしき事	三八ノ六	静ならでは行じ難し	三五ノ六
○賓客の饗應	四七ノ一	○御曹子	四五ノ六	静かに修す	四六ノ三
		○御簾—「簾」を見よ	四〇ノ五	所願	四六ノ六
		○御隨身	四〇ノ五	知れるもの	三四ノ一
		○御隨身近友	四五ノ二	樂む	四二ノ九

なづます	四〇五ノ九	○道々の物の上手	三九ノ一	○源光行	四四ノ九
庭	四四ノ三	○通基(久我内大臣)	三二ノ六	○御室—見	三七ノ二
萬事を放下して向ふ	四三ノ八	○水		○名利—「名利」を見よ	
佛の道—「佛、佛教」を見よ	四三ノ一	淺くて流れたる	三八ノ三	○都—都人	
まことに長じぬる人	四三ノ一	岩に砕けて流るる	三三ノ一	東に行きて身を立つ	四二ノ二
まことの道	三六ノ二	大なる器	三九ノ一〇	吾妻人	四〇ノ七
學ぶ	三九ノ二	穢	四三ノ一〇	死者	三九ノ二
道のあるじ	四二ノ七	土器	三七ノ六	月に戀ふ	三九ノ一
道の冥加	四三ノ二	深き	三八ノ三	物見	三九ノ三
世の博士	四〇六ノ一	○水車	三四ノ九	○都のつと	四三ノ二
世を保たん道	四二五ノ三	○光忠入道	三七ノ三	○宮司	三五ノ二
老少	三四四ノ一	○光親卿	三四ノ九	○御湯殿	三八ノ三
我道な人の知らざる	四三九ノ九	○御調度—「調度」を見よ	四二ノ二	○見る	
業	四六ノ一〇	○繪	四二ノ二	音に聞くと見る時と	三五ノ三
○道長(御堂)	三三ノ三	○六月 祓	三八ノ三	名と面影	三五ノ二
○道の衝の分れん事を歎く	三三ノ二	○みなむすび	四二ノ二	○三輪	三二ノ一〇
○通憲入道	四四ノ六	○南	三九ノ一〇	○三井寺	三五ノ一〇

○昔「過去」を見よ 三六八ノ三	○武者 三五九ノ三	勅書を持ちたる北面 三七ノ三
○昔物語 三六八ノ一	○無常 四九ノ五	作り馬 四三ノ二
○武藏國金澤一甲香 三六ノ三	観する事勿れ 三三ノ七	乗る人の用意 四三ノ二
○食る心 三九ノ三	定めなき世 三五ノ二	沛艾の馬 四〇ノ八
○蟲 三九ノ三	水火より速し 三五ノ二	馬藝 四五ノ二
かげろふ 三三ノ八	身に迫る 三四ノ五	必要 三八ノ四
蛙 三三ノ三	無常の敵 三九ノ八	人くふ馬 四三ノ六
蛇「蛇」を見よ 三七ノ二	無常變易の境 三九ノ三	人の力 四三ノ二
皇居 三七ノ二	○無常の調子 四三ノ九	府生殿の御馬 四〇ノ二
風 三七ノ二	○無智 三九ノ一	馬洗ふ男 四三ノ二
天性 三八ノ二	○宗尊親王(鎌倉の中書王) 四三ノ五	馬のいさかひ 三七ノ五
夏の蟬 三三ノ八	○無能 三七ノ八	落馬の相 四〇ノ五
鹿茸の蟲 四〇ノ五	○馬 三七ノ八	○馬のきつりやう 三九ノ一
	勇めると鈍きと 四三ノ七	○無量壽院 三三ノ七
	兼好の自讃 四五ノ一	○馬乘 四三ノ七
	肥えたる 三七ノ二	城陸奥守泰盛 四三ノ七
	乗馬 三八ノ二	吉田 四三ノ二

○妻 三七ノ三	まことの人 三八ノ三	○もてあつかひぐさ 三六ノ八
○眼「阮籍」 四二ノ六	一生の苦痛 三七ノ九	○基家(田鶴のおほいどの) 四四ノ一
○銘「鐘」 四五ノ五	溺るゝ者 三六ノ七	○基氏(園別常入道) 四六ノ五
○明雲座主 四〇ノ一〇	迷の心 三九ノ一	○基俊卿 三七ノ一
○名譽、名聞 三八ノ一	利に惑ふ 三八ノ一	○基俊大納言 四二ノ四
埋れぬ名 三八ノ一	利を捨つ 三九ノ三	○基具(堀河の相國) 三七ノ一
行跡の譽 四六ノ二	○妙觀(佛師) 四三ノ三	○元良親王 三九ノ五
樂欲する所 四六ノ二	○めくら法師 四七ノ二	○物一人 四六ノ二
才藝の譽 四六ノ二	○珍しき事知らぬ人 三六ノ三	○ものくるゝ友 三三ノ二
身後の名 三八ノ八	○珍しきもの 四〇ノ二	○物知れる人 三九ノ五
毀のもと 三八ノ八	○めなもみ(草) 三七ノ二	○ものなれぬ人 四九ノ一
智恵世に勝れたる 三八ノ五	○帽類 三三ノ三	○物につきて費し損ふ 三七ノ二
ならびなき 四〇ノ二	○望月「月」を見よ 四八ノ二	○物のあはれ 三七ノ二
武勇の名 三三ノ二	餅 四八ノ二	命 三七ノ五
譽を愛する 三八ノ六		子 四〇ノ七
		○物の上手 三五ノ一

○物の上手	四〇五ノ二	○文字の法師	四九ノ二〇	○約	四三六ノ七
○物の音	四三九ノ一	○文選	三四ノ八	○憑むべからず	四三六ノ七
○武士	四〇七ノ一	○桃尻	四〇四ノ七	○宮	四三九ノ二
○紅葉	三四八ノ二	○同	四四ノ九	○藥種	四四ノ五
○門		○母屋	三九ノ二	○焼野	四三ノ三
延暦寺の山門	四四五ノ三	○森一神社	三二ノ九	○養ひ君	四三ノ七
額	四二〇ノ四	○盛親入道	四二ノ五	○社「神社」を見よ	
西明寺の大門	四二ノ六	○もろこし船	三八五ノ一	○康綱	三七ノ一〇
總門	四三ノ二	○師輔(九條殿)	三九ノ二	○泰盛	四三ノ七
中門	四三ノ三	○師信(堀河大納言)	四二ノ五	○やすら殿	三六八ノ七
那蘭陀寺の大門	四二ノ四	○師教(浄土寺前關白)	三七七ノ六	○奴	四三ノ五
法成寺の大門	三三ノ五	○もろ矢	三九ノ七	○やない筥	四三ノ七
法成寺の南門	三三ノ六			○柳	四〇〇ノ六
○文字				○八幡の御幸	四三ノ四
供御	三九四ノ八			○山、山里	三三ノ六
しほ	三九四ノ一〇			閑居	三三ノ六
太衝の太の字	四二ノ五			山澤に遊ぶ	三三ノ三

山林	三五ノ七	○勇者	三三ノ三	○木綿	三三ノ九
中陰の家	三三ノ七	○雪		○夕顔	三三ノ三
山寺	三三ノ七	片田舎の人	三九ノ六	○夕月夜	三七四ノ九
旅行	三三ノ一	酒	四九ノ二	○弓射る事	三六六ノ二
○山階左大臣(實雄)	三七七ノ七	殘雪	三七五ノ二	○弓射る人	三六九ノ七
○山城	三六ノ二	文やる	三五ノ九	○夢一人生	三六ノ一
○病「疾病、病人」を見よ		ふれ〜こゆき	四二ノ一〇		
○山吹		雪佛	四二ノ一		
清げなる	三七ノ二	○靱			
草	四〇〇ノ八	看督長	四三ノ四	○用	四三九ノ五
○遣戸		靱かくる作法	四三ノ二	○用意一女	三七七ノ二
部の間より明し	四九ノ一	○行忠(二品禪門)	四二ノ四	○難疽	四〇〇ノ六
高遣戸	三三ノ二	○行長	四四ノ二	○容貌、人相、風采	
所せげなる	三三ノ二	○ゆざの明神	四三ノ三	老いたると若きと	四二六ノ三
○遣水	三六ノ一〇	○行房朝臣	四三ノ五	鏡	三九二ノ八
		○ゆする	四三ノ四	行雅僧都	四〇〇ノ一〇
		○油断「懈怠」を見よ		想像	三三六ノ二
				酒飲む人	四二ノ一

人品容貌 三三八ノ四	宿醉 四九ノ二	しるるり 三五ノ二〇	勝れたる風采 三二八ノ二	兵杖の難 四〇四ノ二〇	法華堂の三昧僧 三九ノ三	醜きを知らず 三九ノ五	落馬の相 四〇四ノ五	横川の行宣法印 四三三ノ四	横川の常行堂 四五二ノ二	よからぬ人 四七三ノ二	語り笑ふ 三四九ノ八	酒 四七三ノ三	無作法 三六三ノ三	珍しきものもて興す 四〇〇ノ三	豫期 四七三ノ六	實現の不定 四七三ノ六
愈情 四五ノ三	よき細工 四五ノ三	よき人 三五九ノ二	怪しき事を語らず 三五九ノ二	酒 四一九ノ八	偏に興ぜず 三九六ノ三	物語 三四九ノ七	物知り顔 三六三ノ四	よき一言 四〇三ノ五	欲、食慾 四六六ノ二	樂欲する所三 四〇ノ八	大欲 四〇ノ八	樂 四〇ノ六	鳥獸蟲 三八九ノ三	念々の欲 四四九ノ六	食る事の止まざるは 三九三ノ四	欲に従ふ 四三九ノ六
慾深き人 三八三ノ二	女 三七七ノ二〇	横笛「笛」を見よ 四三三ノ二	義景 四三三ノ二	吉田 三三二ノ二	吉田一馬乗 四三三ノ二	吉田中納言 四三〇ノ八	よしなしごと 三三二ノ四	吉野の花 三九九ノ二	吉平(陰陽博士) 四二一ノ六	良房(染殿の大臣) 三三〇ノ二	吉水和尚 三六六ノ三	世捨人 三九九ノ九	空のなごり 三八〇ノ二〇	大事 四三三ノ二〇	他を思ひくたす 四三三ノ二〇	望 三五〇ノ二〇

ひたぶるの世捨人 三三八ノ一	世繼の翁の物語 三三〇ノ三	世にしたがはん人 四〇七ノ二	世の中「人生」を見よ 三九七ノ八	世の人数 三六〇ノ三	酔一人生 四三三ノ二	喚子鳥 四三三ノ二	夜の御殿 三三二ノ三	攝燈 三九一ノ八	東御枕 四〇八ノ三	頼長(宇治左大臣) 四〇八ノ三	夜 四三三ノ二	聲 四三三ノ二	神佛に詣る 四三三ノ六	月夜「月、月夜」を見よ 四三三ノ一	句 四三三ノ一	晝 四三三ノ二
服装 四三六ノ三	更けて参れる人 四三九ノ二	火影 四二八ノ三	めでたし 四二八ノ二	物の音 四三九ノ一	ゆするする男 四三九ノ四	良夜 四三九ノ八	女の化粧 四三九ノ四	萬の事憑むべからず 四三六ノ二	廊 三七六ノ一	老子 三四ノ八	老年、老人 四三六ノ四	暇 四三六ノ四	老いぬと知らば 三九三ノ二〇	藝能 四三六ノ三		
藝能 四三三ノ三	心 四二六ノ一	期する所 三六〇ノ五	壯なる人に並ぶ 三九三ノ二	大事 三八〇ノ九	力を以て禮とす 三九二ノ一	智 四二六ノ三	分を知らざれば病む 三九二ノ三	若き人との交り 三八一ノ六	樂 四三六ノ二〇	落馬の相 四〇四ノ五	螺鈿の軸 三六三ノ二〇	螺鏡調 四二一ノ五	理 四三三ノ二	聖教の細やかなる理 四三三ノ二		

大に就き小を捨つる	四六ノ八	〇梁塵秘抄	三五ノ九
變化の理	三六ノ八	〇凌雲の額	三九ノ二
實の理	三七ノ二	〇旅行	
なかしきことわり	四五ノ八	酒	四九ノ六
女は理に暗し	三七ノ二	調度	三六ノ三
〇利「名利」を見よ		能ある人	三六ノ三
〇龍華院	四五ノ二	都へのたより	三六ノ一
〇隆辨僧正	四八ノ二〇	めさむる心地	三五ノ二
〇六藝	三八ノ三	山里	三六ノ一
〇理即	四〇ノ八	田舎びたる所	三六ノ一
〇律	四二ノ六	〇呂律	四四ノ一
〇立春	四二ノ九	〇禮儀	
〇律の禁	四三ノ七	思はじ	三八ノ一
〇律呂	四三ノ四	酒	四七ノ六
〇李部王の記	三九ノ六	智を誇る	三九ノ九
〇龍膽	四〇ノ九		
〇諒闇	三三ノ二		
		〇貧人	三九ノ一
		老人	三九ノ一
		〇伶人	四四ノ三
		〇料簡	四四ノ八
		〇料の御牛飼	三八ノ一
		〇戀愛	
		あだなる契	三五ノ八
		逢はぬ戀	三五ノ八
		色好まざらん男	三九ノ四
		思ひ亂れたる	三九ノ四
		何人も變りなし	三三ノ九
		わりなく通ふ	四四ノ二〇
		〇連歌	
		夷	三六ノ九
		賭物	三六ノ四
		〇聯想	三五ノ二
		〇蓮府	四七ノ九

〇六根清淨	三五ノ五	〇王儉	四七ノ八
〇六時堂の前の鐘	四三ノ六	〇黄鐘調	
〇六塵の樂欲	三三ノ二	鐘の聲	四三ノ九
〇六時禮讚	四五ノ八	西園寺の鐘	四三ノ九
〇鹿茸一膳	四五ノ五	夕の穴(横笛)	四二ノ四
〇六條の故内府	三九ノ九	法金剛院の鐘	四三ノ二
〇六波羅	四七ノ一	無常の調子	四二ノ九
〇同	四三ノ三	最中	四二ノ六
〇露臺	三二ノ一	六時堂の前の鐘	四三ノ六
〇論語	四七ノ三	〇王子猷	三八ノ九
〇同	四五ノ六	〇往生	三九ノ五
		〇庭尉の官人	四四ノ四
		〇玉土	四四ノ一〇
		〇和歌	
		あやしの殿山がう	三四ノ一〇
		ありたきことは	三八ノ七
		歌の道	三五ノ七
		歌の道	四九ノ二
		歌枕	三五ノ八
		歌物語	四九ノ二
		恐しき猪	三四ノ二
		古今集	三五ノ一
		古今の比較	三四ノ二
		詞書	三九ノ四
		同	三九ノ三
		新古今集	三五ノ四
		和歌論	三四ノ一〇
		〇和歌、俗語	
		秋の野の(古今)	四五ノ一
		飛鳥川(古今)	三三ノ二
		あやめの草は(江の侍従)	三九ノ九
		糸による(古今)	三五ノ一
		かくれども(周防内侍)	三九ノ一
		君がためにと(伊勢物語)	三五ノ二

蜘蛛のいに さそふ水(古今) 知られず(新古今) 玉だれに(四季物語) 月をめで(吉水和尚) 殿もりの(新院) 残る松さへ(新古今) は山しげ山(古今) ふたつもし(延政門院) 昔見し(堀河院百首) なりならぬね(辨の乳母) ○若き人 貌の老いたるに優る 言語 心 友とするに悪き者 身をあやま	四三ノ二 四五ノ一 四五ノ二 三九ノ五 三六ノ四 三三ノ八 三五ノ四 四五ノ四 三五ノ一 三三ノ四 三九ノ八 四二ノ三 四八ノ三 四二ノ八 三八ノ九 四二ノ一	目に立つ ○和漢朗詠集 ○別 生別死別 夏の曙 人情 ○わきざし ○和國一單律の國 ○和琴 ○早稻田 ○禍一慢心 ○渡邊のびじり ○童一「兒童、童」を見よ ○童名 ○破籠 ○香木香	四八ノ一 三六ノ四 三三ノ一 三五ノ九 三三ノ二 三八ノ二〇 四三ノ四 三六ノ六 三八ノ四 四三ノ三 四六ノ九 四四ノ一 三八ノ一 四〇ノ九	○園碁、碁盤 石を弾く心得 碁打と成功 拙き人 耽る人 ○違順 ○田舎人 さしいらへ 花、雪、物見 ○院 ○院(延政門院) ○院(後宇多院) ○院(後鳥羽院) ○韻の誤 ○院の御樓敷	四二ノ二 四三ノ二 四三ノ二 四三ノ七 三八ノ五 四六ノ一〇 三六ノ五 三九ノ四 三四ノ一 三五ノ二 三八ノ七 三四ノ九 四五ノ四 三四ノ四
---	--	---	---	---	---

○尹大納言光忠入道 ○衛士 ○烏帽子 ○醉一人生 ○醉 愛に泣く 醉狂 醉泣 ○圓伊備正 ○惠遠一謝靈運 ○岡本關白殿 ○萩 ○男	三三ノ三 三三ノ二 四四ノ七 三六ノ二 一八ノ二〇 四八ノ四 四八ノ三 三五ノ九 三七ノ二 三五ノ二〇 四〇ノ八	飲酒 好色 教育 月下の笛 定まる妻 身邊の飾 讀書 日暮れて沐浴する 獨住 美男 平凡なる妻 婿 睡じき物語 よき女 女に劣る男 女に媚ぶる男 女に物言はれたる時	三八ノ九 三九ノ四 三七ノ五 三四ノ二〇 三七ノ三 三七ノ九 三四ノ八 四九ノ四 四七ノ二 四三ノ二 四二ノ一 三七ノ二 四三ノ三 四三ノ六 三七ノ二 三七ノ一	女への親切 ○男舞 ○小野小町 ○小野道風 ○女郎花 ○女 足駄にて作れる笛 あやしの東入 老いたる尼 老法師 面白き 隠れ家 家事 髪 髪筋をよれる綱 栗のみを食ふ 化粧	三二ノ九 四四ノ八 四二ノ五 三六ノ四 四〇ノ九 三三ノ一 四五ノ一 四八ノ六 四三ノ四 四三ノ八 三七ノ八 三三ノ七 三三ノ一 三三ノ八 四三ノ四
---	--	--	---	--	--

兼好試みらる	二四五ノ二
賢女	三七八ノ三
子産みたる	四二八ノ五
子の愛	四二八ノ五
酒	四二七ノ二
男女の物語	三七六ノ二
智恵	三七八ノ一
同棲	四二八ノ六
似合はぬ男	四二五ノ五
平凡なる女	四二八ノ二
別居	四二八ノ七
松下禪尼	四三三ノ五
よき女	四二八ノ三
男を試む	三七七ノ一
女の價值	三七七ノ九
女は拙し	三七八ノ一
女無き世	三七七ノ八

徒然草索引終

明治四十四年十二月九日印刷
明治四十四年十二月十二日發行

枕草紙、方丈記、徒然草
定價金八拾五錢

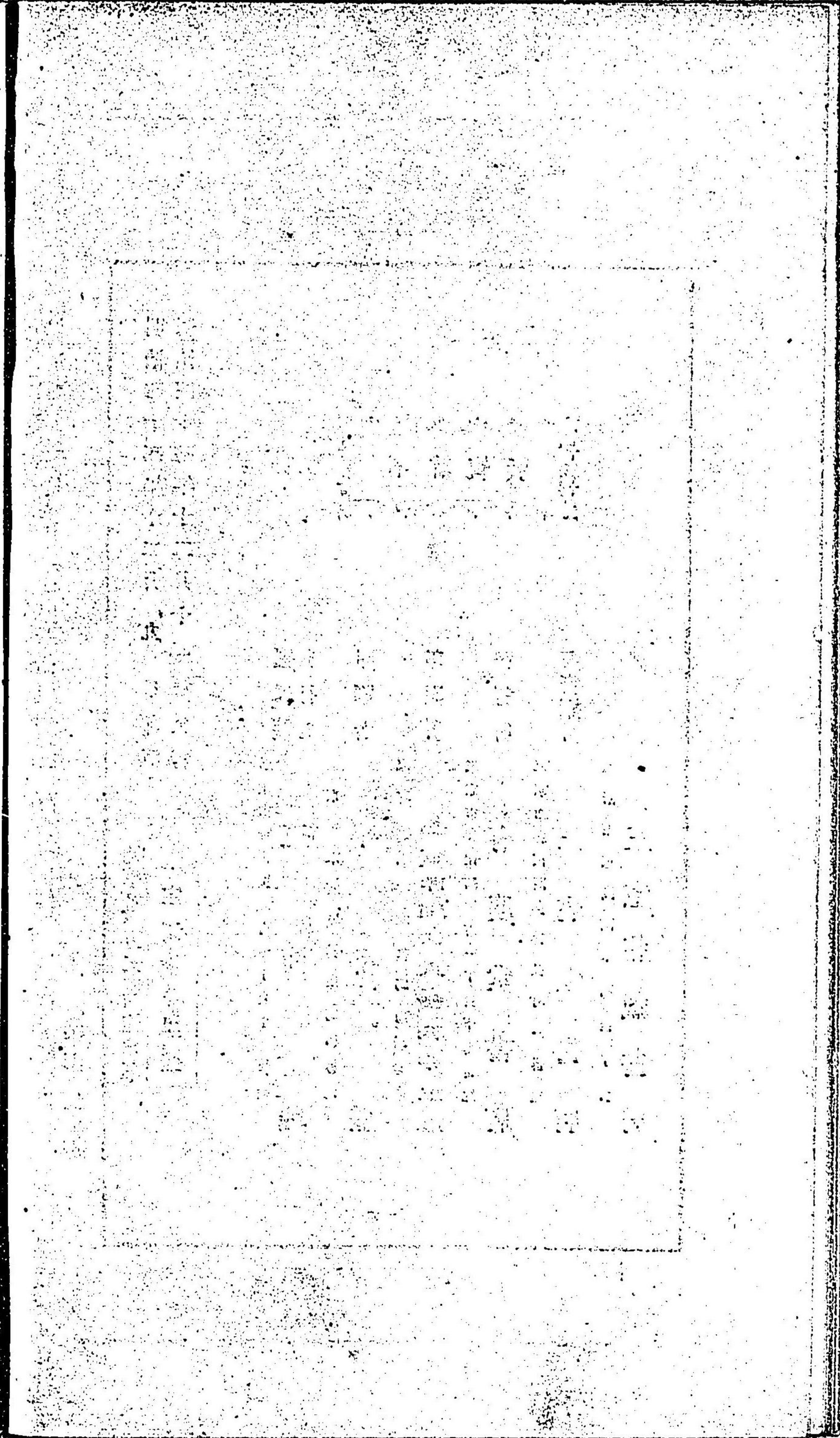
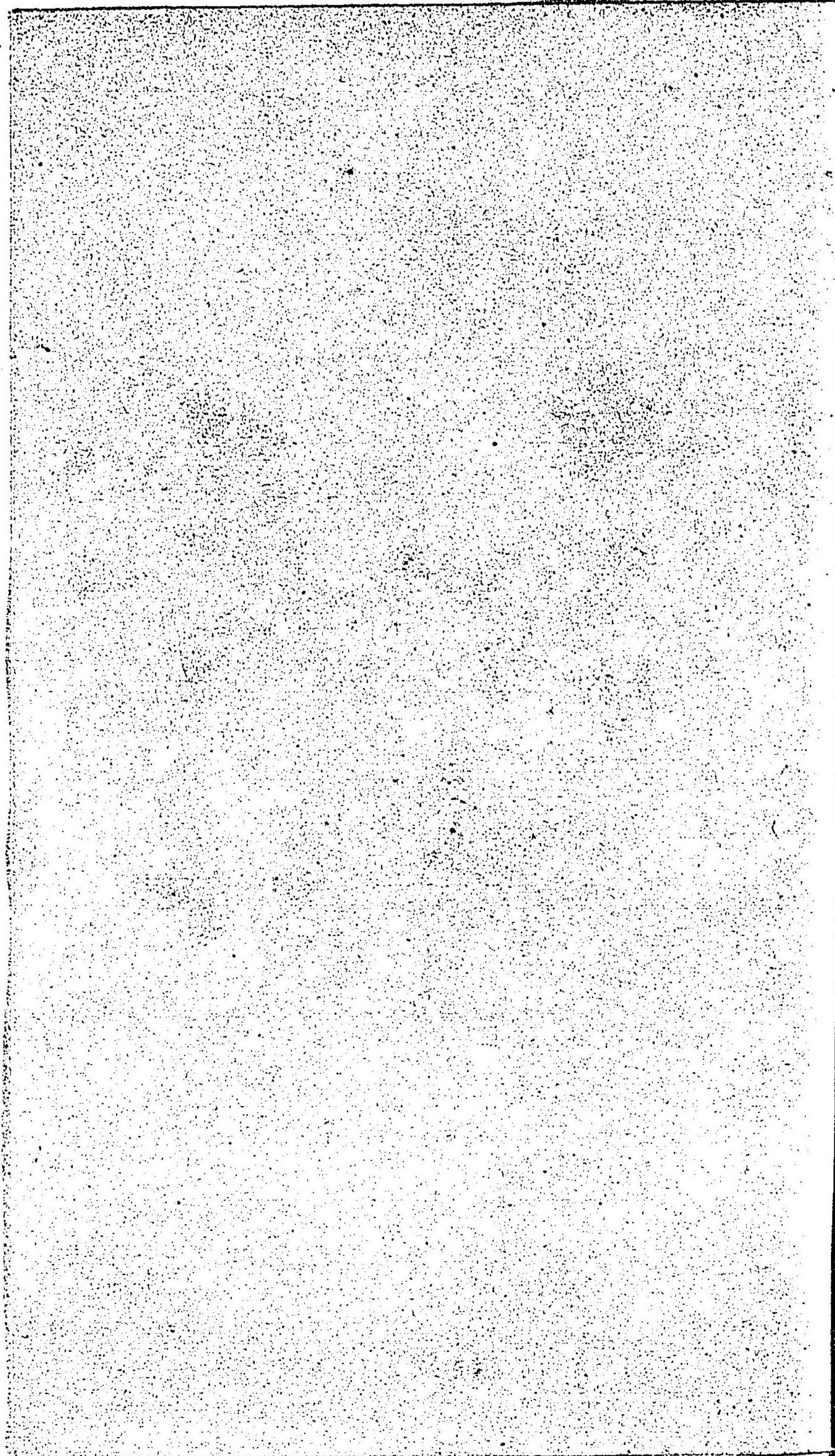
(岡山製本)

不許複製

編輯兼 發行所 印刷所 印刷者 發行所 大賣捌所 同

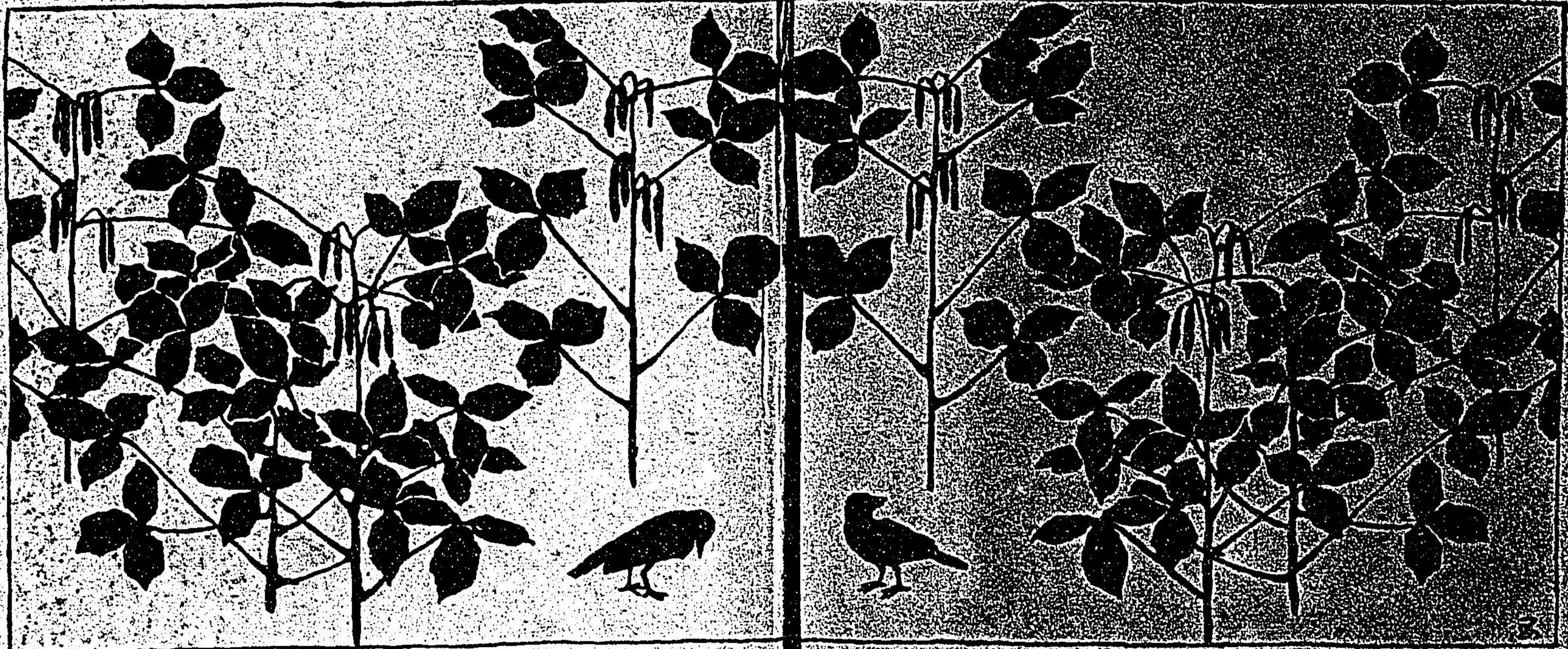
三浦理 三井登 凸版印刷株式會社分工場 有朋堂書店 三省堂書店 三宅莊藏書店

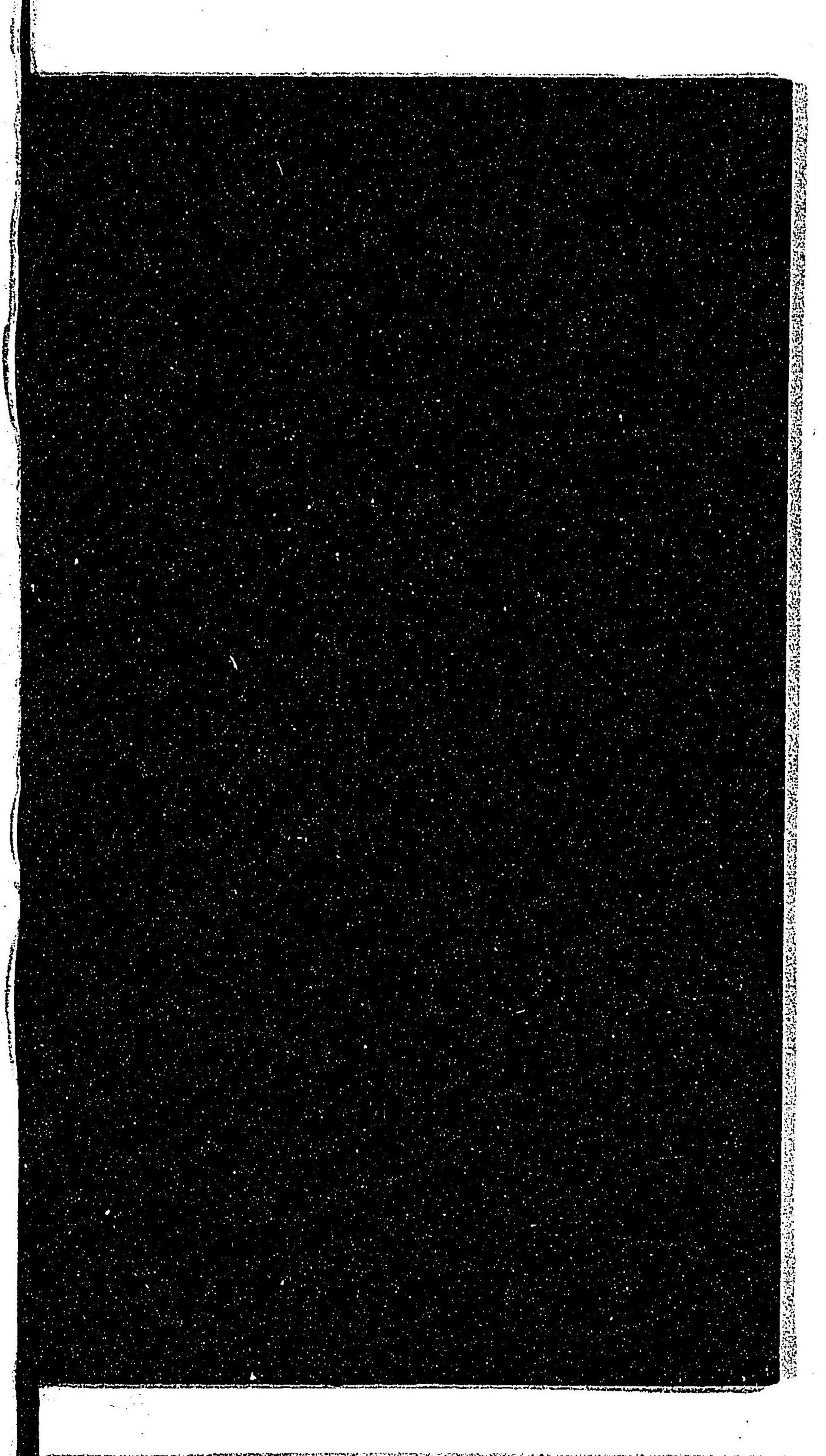
東京市神田區錦町一丁目十九番地 東京市本所區香取町四番地 東京市神田區錦町一丁目十九番地 東京市神田區裏神保町一番地 大阪市東區南本町四丁目



268

660





095909-000-2

特30-386

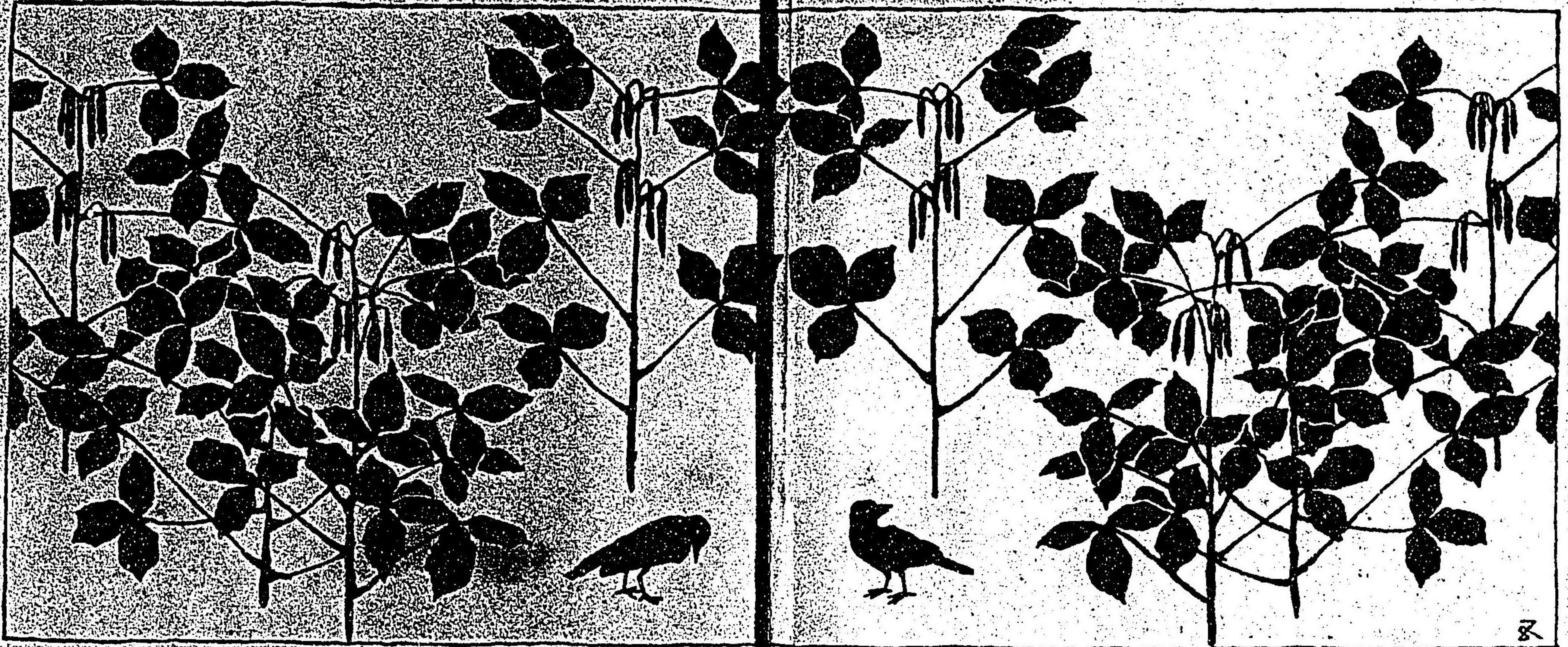
枕草紙・方丈記・徒然草

有朋堂

M44

DBR-0134





87